

SEMINAR HOUSE NEWS

セミナーハウス・ニュース

No.182
2012年5月発行

公益財団法人 大学セミナーハウス 〒192-0372 東京都八王子市下柚木1987-1 TEL.042-676-8511 FAX.042-676-1220

<http://www.seminarhouse.or.jp>



巻頭言

大学改革の新段階

大学セミナーハウス 評議員
山本 眞一

「大学改革」はいつの時代でも論じられ続けてきたが、かつては制度の大枠など国全体のマクロレベルのものがほとんどであり、個別の大学にその改革が及ぶことはきわめて稀であった。各大学は、国民の旺盛な進学意欲に支えられて、古い体質を抜本的に改革することなく、成長を続けることができていた。国民や企業の関心が大学の「入口」と「出口」すなわち入試と就職に特化していたことや、「学問の自由」「大学の自治」の原則が大学関係者だけではなく政策担当者の間でも共有され、改革に着手するかどうかは各大学の判断であったことなどが、その要因であろう。

しかし、1990年代初頭、東西冷戦構造の終結やバブル経済の崩壊に伴う政治・経済状況の変化に加えて、18歳人口の長期減少が始まり、大きな転機が訪れた。その結果、第一に「大学の自治」は教授の勝手気ままではなく、社会的責任を伴ってこそのものであること、第二に大学の教育は社会のニーズと有機的に関連づけられなければならないこと、第三に学生にとって魅力のある大学にならなければ学生確保が難しいこと、などの新局面が出現した。このため大学改革は、国が主導する制度改革を契機として、また学生確保という市場メカニズムを介して、個別機関の改革というミクロレベルにまで拡大し、かつ従来にない速度で進行してきている。

近年、大学改革の内容に変化が見られるようになった。それは2000年代半ば、具体的には2005年の中教審将来像答申あたりを境目とするものである。それまでの大学改革論議は、いかにして教授会的自治を改めて学長のリーダーシップを確立するか、優れた教育・研究に資源を投入するための競争的環境はいかにあるべきか、など「制度の外枠」の改革にまつわるものが大半であった。これらは、多少の紆余曲折はあったが順調に進行し、その総決算というべきものが中教審の将来像答申であったといえるだろう。



その後の論議は、グローバル化、知識社会化などの変化に対応するための方策として、教育の質をいかに保証するか、そのために大学は何をどのように教えるべきか、など「大学教育の中身」に重点が移ってきている。最近の中教審は、きわめて具体的に大学教育の中身の改革方策を論じるようになってきていることに読者はお気づきであろう。このまま進んで「大学教育指導要領」のようなものが国によって作られるようでは困るが、むしろわれわれ自身の手で教育の内容・方法の改革を行うことが喫緊課題ではあるまいか。入試によって学生を選抜すればあとは企業がその学生の質を判断してくれる、というこれまでの安易な立場を脱却し、大学教育のあり方こそがわが国の将来を左右するのだという自負をわれわれ大学関係者は共有したいものである。

●山本 眞一（やまもと しんいち）プロフィール

- 1949年 大阪に生まれる
- 1972年 東京大学法学部卒業・文部省入省
その後、高等教育局、初等中等教育局、官房等を経て
- 1986年 臨時教育審議会調査員
- 1987年 調査統計課課長補佐
- 1988年 米国科学財団（NSF）客員研究員
- 1989年 埼玉大学助教授・大学院政策科学研究科
- 1992年 筑波大学助教授
- 1996年 筑波大学教授・大学研究センター長
- 2006年 広島大学教授
- 2007年 同・高等教育研究開発センター長
- 2012年 桜美林大学教授
大学アドミニストレーション研究科担当

公益財団法人第4回理事会

日 時：平成23年10月29日（土）
場 所：大学セミナーハウス 交友館A室

出席理事 8名、欠席理事 1名
出席監事 1名、欠席監事 1名

佐藤議長から、本理事会の開催目的は、第1号議案「開館50周年記念事業(案)について」、第2号議案「平成24年度事業計画骨子(案)について」、第3号議案「規程整備計画(案)について」、第4号議案「運営幹事校選定(案)について」及び第5号議案「新規賛助会員について」の審議である。第1号議案及び第2号議案の審議に時間をかけたいので、第3号議案、第4号議案及び第5号議案の審議を先に行いたい旨の説明がなされ議事に入り、審議の結果いずれの議案も原案通り承認可決されました。

◎協議事項及び主な内容

第1号議案 開館50周年記念事業(案)について

館長から、次のような提案説明がなされました。

今回の提案はあくまで、各理事の皆様のご意見を賜りたいためのたたき台であり正式には、本日のご意見を踏まえて、3月の理事会で改めてご提案する。

理事長から、平成23年度第1回常務理事会で出された意見について説明がなされ、更に、新たな提案やアイデアについての率直な意見を求めたところ、多くのご意見をいただきました。

第2号議案 平成24年度事業計画骨子(案)について

館長から、次のような提案説明がなされました。

50周年記念事業の実施を前提に、「平成24年度事業計画骨子(案)」を説明するが、この案件も、次回3月の理事会に正式提案する。

本日は、ご意見を賜り、提案を膨らませていきたい。あくまでもたたき台なので率直なご意見を賜りたい。

出席理事からは、多くのご意見を頂きました。

第3号議案 規程整備計画(案)について

専務理事から、公益財団法人になり、新たな定款のもとで諸規定の見直しを順次行っているが、今回は、経理規程案及び運営幹事会要項案を上程させていただく旨の提案説明がなされました。

続いて、経理規程案については事務局から、運営幹事会要項については館長からそれぞれ概要の説明を行い、審議ののち、規程整備計画(案)は可決されました。

第4号議案 運営幹事校選定(案)について

理事長から、20校の運営幹事校の提案説明及び運営幹事の推薦依頼手続きの説明がなされ、審議ののち、運営幹事校選定(案)は可決されました。

◎運営幹事校

青山学院大学 首都大学東京 日本女子大学
明治大学 桜美林大学 中央大学 東京農工大学
日本大学 慶應義塾大学 帝京大学 法政大学
創価大学 国際基督教大学 東京学芸大学
立教大学 東洋大学 駒澤大学 東京大学
早稲田大学 明星大学

第5号議案 新規賛助会員について

館長から、提案説明がなされ、出席理事全員が賛成し、新規賛助会員は承認されました。

新規賛助会員 医療法人社団 KNI 北原国際病院

◎報告事項について

業務報告について

事務局から、平成23年度上期職務執行状況について次の報告がなされ、出席理事からご意見をいただきました。

- ①決算見込
- ②自然災害等による施設被災状況
- ③利用状況
- ④主催セミナー実施状況
- ⑤施設整備状況

公益財団法人第5回理事会

月 日：平成24年3月17日（土）
場 所：大学セミナーハウス 交友館A室

出席理事 6名 欠席理事 3名 合計 9名
出席監事 1名 欠席監事 1名 合計 2名

佐藤議長から、本理事会の開催目的は、第1号議案「平成24年度事業計画案(案)について（50周年記念事業計画案を含む）」、第2号議案「平成24年度収支予算(案)について」、第3号議案「平成24年度資金調達(案)及び設備投資(案)について」、第4号議案「評議員会及び役員会の平成24年5月開催日程(案)について」及び第5号議案「個人情報保護法関連規程(案)について」の審議である旨の説明がなされ、出席理事全員の了解のもと議事に入り、審議の結果各議案とも承認可決されました。

◎協議事項及び主な内容

第1号議案「平成24年度事業計画案(案)について（50周年記念事業計画案を含む）」

提案説明の前に、審議資料として次の2つの資料が専務理事から出席者に配布されました。

- 1) 「50周年記念事業概要」。内容は次の通り。
 - ・50周年記念事業概要
 - ・50周年記念事業資金計画
 - ・セミナーハウスの魅力づくり
- 2) 先刻開催の「平成24年度第2回常務理事会議事メモ（上記「50周年記念事業概要」に関する常務理事会での発言内容）」。内容は次の通り。
 - ①食堂建設については、投資効果の一層の検討を行うこと
 - ②50周年を機に長期的な視野での魅力の創出を（女子学生ニーズへの対応）
 - ③利用促進活動の充実による目標利用者数の達成を図り資金計画の好転を
 - ・施設の整備
 - ・社会人・高校生・留学生等
 - ・学会
 - ④寄付活動の効果的な取り組みを
 - ・優遇税制のPR
 - ・寄付活動委員の人選

- ⑤アートビレッジ構想の募集対象を広範囲に広げたらどうか
- ⑥食堂委託業者の選定について、条件提示の再検討を

続いて、平成24年度事業計画(案)について館長から、「50周年記念事業概要」資料の中から「50周年記念事業資金計画」について専務理事から提案説明がなされ、議長が各理事に意見を求めて審議に入りました。出席理事から次のような意見が出されました。

◎第1号議案関連発言内容

- ①留学生に着目した諸対策については、大変好ましい
- ②土地貸与事業に関して、まだまだ事業拡大の余地があるのではないか
- ③自己資金の積み立てに関して、利用者増を図って上積みを目指す

以上の第1号議案の審議に対して、議長から、次回評議員会及び理事会において、50周年記念事業の執行体制を決定したい旨の発言がなされ、第1号議案について採決の結果出席理事全員が賛成し、50周年記念事業計画案を含む平成24年度事業計画案は可決承認されました。

第2号議案 「平成24年度収支予算(案)について」

第3号議案 「平成24年度資金調達(案)及び設備投資(案)について」

提案説明の前に、参考資料として次の資料が専務理事から出席者に配布されました。
・参考資料「平成24年度収支予算書(案)資金収支」

議長から、第2号議案及び第3号議案は関連があるので一括で提案したい旨の説明がなされ出席理事全員の了解のもと議事に入りました。

続いて、専務理事から「平成24年度収支予算(案)」の説明がなされ、審議の結果、原案通り承認可決されました。

議長が意見を求めたところ、第2号議案「平成24年度収支予算(案)」及び第3号議案「平成24年度資金調達(案)及び設備投資(案)」に出席理事全員が賛意を示し、採決の結果、第2号議案及び第3号議案それぞれ出席理事全員が賛成し、可決承認されました。

第4号議案 「評議員会及び役員会の平成24年5月開催日程(案)について」

館長から、提案説明がなされ、出席理事全員が賛成し、「評議員会及び役員会の平成24年5月開催日程(案)」は可決承認された。なお、開催日程・開催場所・予定議題は次の通りであります。

開催日時：平成24年5月19日(土)

開催場所：大学セミナーハウス

常務理事会 15:00~16:00

理事会 16:00~17:30

評議員会 17:30~19:00

主な議題：評議員会事項

1) 評議員の選任(1名の補充)

2) 決算報告(案)の承認

理事会事項

1) 事業報告(案)の承認

2) 決算報告(案)の承認

第5号議案 「個人情報保護法関連規程(案)について」

専務理事から、次のような提案説明がなされました。

- ①この度、定款第42条個人情報の保護に関する条項に基づき、本法人における個人情報保護に関する規定を整備することとした。
- ②整備内容は、個人情報保護方針、個人情報保護規程およびプライバシーポリシーの3つから構成されている。
- ③保護方針は法律で定められた原則の順守をうたっている。
- ④保護規程は、一般的に採用されている保護規程類を参考に、保護方針の内容をつまびらかにしたもので、個人情報の取得、利用と第三者提供、個人データの管理、保有データの公表・開示、個人情報安全管理の組織及び体制等を明記した。
- ⑤プライバシーポリシーは、定款、保護方針及び規程に基づいて、具体的に適用するにあたっての、利用者及び職員のための運用細則であり、ホームページ等で周知するものである。
- ⑥なお、これらの規程に基づいて職員研修を進める。
- ⑦送付した資料と比べ若干修正を加えてあることをご了解いただきたい。

規程は、第1条に「定款第42条に基づく」を追加。ポリシーは、Iの末尾に「本法人の保護方針及び規程に基づいて定める」を追加。

議長が意見を求めたところ、第5号議案「個人情報保護法関連規程(案)」に出席理事全員が賛意を示しました。

以上の第5号議案の審議に対して、議長から、東京都庁等との調整で修正が発生した場合には理事長に一任を頂きたい旨の発言がなされ、第5号議案について採決の結果出席理事全員が賛成し、個人情報保護法関連規程案は可決承認されました。

◎報告事項について

専務理事からの指示に基づいて、事務局から平成23年度職務執行状況について報告がなされた。

- ①平成23年度利用状況について
- ②平成23年度主催セミナー実施状況について
- ③平成23年度施設整備の状況について
- ④平成23年度決算見込みについて
- ⑤会員の退会について

平成24年度予算書はP6に掲載

*寄付者ご芳名(平成23年4月~平成24年4月)

平成23年4月1日をもって、公益財団法人に移行いたしました。ご寄付いただいた方々のご芳名をご報告させていただきます。(千人会の方々については千人会通信でご報告いたします。)

小川哲生様、有限会社ジョイフル様、青木孝雄様

ご協力、大変ありがとうございます。大切に当法人の運営に活用いたします。

会費をありがとうございました

2011年10月～2012年3月 (敬称略)

近藤 保、山岸 健、鈴木俊和、青木生子、松本幸一、田村皖司、池田 温、白井克彦、金子 晃、小西正捷、横沼健雄、澤 孝一郎、福井憲彦、森 久、有山正孝、後藤敏明、三浦安子、徳重昌志、青柳総太郎、上田明子、吉田 豊、岡崎 正、川端香男里、田島澄江、堀井啓幸、中野齊子、生山智己、大森東亜、慶壽壽信、鈴木 皇、小谷正博、柳澤富雄、新井 明、大澤恵美子、乾 崇夫、川崎正三、石川道夫、佐藤彦彦、池井 優、北原文雄、麻生 幸、新保清子、富沢賢治、武田昌輔、風間邦光、海老沢信一、蓮見音彦、柳父園近、西川大二郎、福永寿巳夫、出光直樹、肥前榮一、得田保雄、中村妙子、泉 敏彦、磯 直道、小村一彦、飯野訓征、本田和子、絹川正吉、寿里 茂、甲斐義幸、島田治夫、勝見允行、福田一郎、松山正男、小幡史朗、佐藤公孝

関本昌秀、小林善彦、松田千鶴子、川鍋正敏、木畑洋一、酢屋善元、小田中敏男、平澤茂一、小田 滋、牧内 操、宇野重昭、築田長世、布施涛雄、有末 賢、戸張よし子、熊川 忠、村上 健、米満 澄、木下是雄、小林徹郎、鈴木順子、澤 孝一郎、福井憲彦、森 久、有山正孝、後藤敏明、三浦安子、徳重昌志、青柳総太郎、上田明子、吉田 豊、岡崎 正、川端香男里、田島澄江、堀井啓幸、中野齊子、生山智己、大森東亜、慶壽壽信、鈴木 皇、小谷正博、柳澤富雄、新井 明、大澤恵美子、乾 崇夫、川崎正三、石川道夫、佐藤彦彦、池井 優、北原文雄、麻生 幸、新保清子、富沢賢治、武田昌輔、風間邦光、海老沢信一、蓮見音彦、柳父園近、西川大二郎、福永寿巳夫、出光直樹、肥前榮一、得田保雄、中村妙子、泉 敏彦、磯 直道、小村一彦、飯野訓征、本田和子、絹川正吉、寿里 茂、甲斐義幸、島田治夫、勝見允行、福田一郎、松山正男、小幡史朗、佐藤公孝

会員からのメッセージ

◆46年間の大学教授時代をすべて終了しました。都内の「十大学合同セミナー」(国際関係)がまだ続いていることを頼もしく思っています。 宇野重昭
◆千人会員をふやす、そしてプログラムに参加をうながすため、セミナー等の参加費を学生並に出来ませんか。 布施涛雄
◆誕生祝いのお言葉の葉書、ありがとうございます。大学セミナーハウスがこれからの時代を担う若者の育成に役立つ場となりますようにと祈ります。 熊川 忠
◆カードを有難うございました。郵便整理に混乱が生じ、少し間が空いてしまいましたので、数年分まとめて協力させて下さい。益々のご健闘を祈っております。 村上 健
◆今年も誕生日を祝ってカードを御恵送いただき、心から御礼申し上げます。80歳をいくつか超すと、やはり老人の感を憶えざるを得ません。幸いに活字を見る意欲と根気だけは衰えたりといえども、続いているのは感謝であります。与えられている日々、R.Bultmannで新約聖書学の素人勉強を続けたく思っております。 小林徹郎
◆一瞬にして失われた沢山の方の尊い命のことを思い、せめてその一時を受け継ぐ思いで、一日一日を大切に生きたいと存じます。 鈴木順子
◆大学セミナーハウスでの共同セミナーやゼミナール活動などを思い浮かべることは私にとって大きな力です。 山岸 健

◆卒寿とやらの年齢を迎え、やり残した仕事をぼつぼつまとめております。 青木生子
◆都内の主要各大学の協同による高邁なる教養教育の理念を掲げて誕生した大学セミナーハウス、その精神のさらなる追求を心から祈っています。 田村皖司
◆今年もまた3月にゼミ合宿でお世話になります。恵まれた環境の中で有意義な合宿にしたいと考えております。どうぞよろしく願いたします。 森 久
◆誕生カードをありがとうございます。多難でした2011年も残り少なくなりました。2012年が平和で、質実な年となりますように。皆様の御平安をお祈り申し上げます。 三浦安子
◆満60歳をめたくむかえることができました。益々のご発展をお祈り申し上げます。 青柳総太郎
◆二度目の定年退職から十年余。無事にすごしていることの感謝とともに、何かお役立つことがあればとも考えております。 上田明子
◆バスディカードをありがとうございます。震災地対応プロジェクトで被災地へ、コミュニティスクール関係でイギリスに行きました。絆の実態やあり方を再考する調査だったかもしれません。セミナーハウスの落ち着いた環境で自らの立ち位置も含めてじっくり見通してみたいです。 堀井啓幸
◆大学セミナーハウスの果たされる役割に期待いたしております。 横沼健雄
◆来年度も宜しくお願い致します。中野齊子

◆思いがけない、あるいは心配していたとおりの困難な世の中、ハウスの役割を期待しています。 鈴木 皇
◆92歳を迎えました。こんなに生きるとは思っていませんでした。脚力が弱ってきましたが、杖を利用、年なりに元気に過ごしております。 北原文雄
◆JR八王子駅ビルのそごうデパートが退店。秋にはセレオとして生まれ変わるとか、移りゆく八王子。セミナーハウスはいつまでも。 海老沢信一
◆大学セミナーハウスの健在を祈ります。 肥前榮一
◆今年の冬は本当に寒いです。大学セミナーハウスの益々の発展を祈ります。 得田保雄
◆出来れば(年に1回でも)千人会の懇親会でも開いていただきたいと思ひます。 甲斐義幸
◆ますますのご発展をお祈りします。(小生はお陰様で後期高齢者になりました!) 島田治夫
◆新しくなったセミナーハウスを再訪する日を楽しみにしております。セミナーハウスのさらなる御発展をお祈りいたします。 松山正男
◆心、脳、ガンと三疾患をかかえながら、昨春から月に3回東北に通っています。生かされているということは有難いこと。 小幡史朗

平成23年度 宿泊業務報告

◆年間の宿泊利用者数 29,920人
平成23年度の宿泊利用者数は29,920人で、前年度が31,274人でしたので、1,354人の減少でした。
23年度下期は一昨年受注のあったマレーシアからの大型団体等が受注でき前年比12.7%増になりましたが、全体的には、東日本大震災及び福島原子力発電所の影響があり低調に終わりました。
また、景気の低迷もあり、社会人(会社関係)の受注が前年比87.5%と苦戦を強いられました。
24年度は、新入生オリエンテーションの受注があり、需要は回復しつつあるものの、東日本大震災等の影響はしばらく続くものと思われまます。
◆区分別利用状況
宿泊延人数全体の占める区分別の構成比は表1、図1に示す通りです。

表1 宿泊延人数

区 分	平成23年度		平成22年度	
	宿泊延人数	構成比	宿泊延人数	構成比
会 員 校	16,716	55.9%	18,160	58.1%
一 般 校	7,818	26.1%	7,251	23.2%
社 会 人	4,936	16.5%	5,638	18.0%
主催セミナー	450	1.5%	225	0.7%
合 計	29,920	100%	31,274	100%

利用区分比率は会員校で前年比2%減、一般校3%増、社会人2%減、主催セミナーは前年比大幅増になりました。教育関係の占める割合は84%となりました。

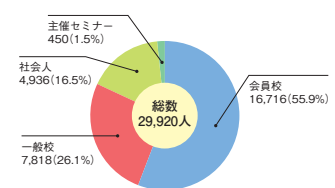


図1 利用区分構成比

◆宿泊の年間稼働率は29.8%

本年度のセミナーハウスの営業日数は、360日で、宿泊室(宿泊定員279人)の年間平均稼働率は29.8%でした。
尚、ご参考までに本年度最多利用会員校を紹介します。(表2)

表2 協力会員校最多利用10校

順位	大学名	宿泊延人数(人)	順位	大学名	グループ数
1	首都大学東京	1,351	1	首都大学東京	38
2	創価大学	1,144	2	法政大学	33
3	明星大学	1,055	3	早稲田大学	32
4	法政大学	997	4	中央大学	31
5	中央大学	907	5	日本大学	26
6	日本大学	772	6	明星大学	17
7	早稲田大学	744	7	東洋大学	17
8	青山学院大学	729	8	明治大学	16
9	東京都市大学	562	9	創価大学	15
10	明治大学	556	10	青山学院大学	12

ご利用ありがとうございました (平成23年10月～平成24年3月)

**=同月2回利用
***=同月3回以上利用
日帰り利用はグループ数のみ
(延べ人数には日帰り利用は含まず)

敬称略

■10月(60グループ 延べ1,880人)

内定アカデミア
東京学芸大学混声合唱団
日本大学生産工学部辻研究室
首都大学東京キャリアデザインサークルklu企画部
首都大学東京都市基盤環境学域計画・交通研究室
早稲田大学 原田ゼミ
首都大学東京社会人類学分野
上智大学S T P
明星大学 渡邊ゼミ
日本大学 川又ゼミ
立正大学人間力養成支援プログラム
お茶の水女子大学文教育学部グローバル文化学環
東京工業大学 彌田ゼミ
お茶の水女子大学理学部情報科学科
法政大学文学部地理学科
神楽坂懇話懇親会
早稲田大学渡辺仁史研究室
第4回国際教養セミナー
劇団OH! 座
ハンセン病問題支援学生NGO橋
法政大学ビジネスサークルブレイク
関西創価中学校
東京女子大学 今村ゼミ
創価大学キャリアセンター
首都大学東京NicholasPaul Hoye
話し方勉強会
東京都立新宿高等学校
三育学院カレッジ神学科
日本生物工学会
JOCジュニアオリンピックカップ
言論NPO
相模原フィルハーモニー
特定非営利活動法人ワールドビジョンジャパン
心と体の研究会
調布南キリスト教会
創価大学中国研究会OB・OG会
南大沢チャペル
社団法人日本冷凍空調学会
九州コルアカデミーOB会
ホワイトホースシアター
キュービー(株)
TLA(東京ロジカルアカデミー)
アンサンブルシオン
大成建設(株)
石川千鶴記念会
インタープリテーション協会
ホワイトホースシアター
コミカミノルタ
留学生
個人利用
日帰り利用
TMCA
JOCジュニアオリンピックカップ
株式会社ストリームズ
西村映造 **
会津高等学校合唱部
札幌市立手稲東中学校
とんぼクラブ
(株)スリーボンド ***

■11月(55グループ 延べ1,875人)

埼玉大学 三宅ゼミ

中央大学 甲斐ゼミ
第8回古代史セミナー
法政大学 小椋ゼミ
日本女子大学附属高等学校
KBC実行委員会
第8回古代史セミナー
首都大学東京 小林研究室
高分子学会
財団法人祈月書院
法政大学 森村ゼミ
八王子BBS会
創価高校2年生男子
スペインゼミ
首都大学東京イクイップメントスタジオ
明星大学 小貫ゼミ
駒澤大学合唱団
お茶の水女子大学グローバル教育センター
早稲田大学文学部教育学コース
早稲田大学 大門ゼミ
早稲田大学 佐藤ゼミ
埼玉大学経済学部 伊藤ゼミ
アイセック青山学院大学
アイセック上智大学委員会
第38回国際学生セミナー
東京学芸大学 国分・奥住ゼミ
東京薬科大学キャンブ
玉川大学 山口ゼミ
東京神学大学2011年度修養会
目白大学 青木ゼミ
亜細亜大学国際文化局
名鉄学園社若高等学校 野球部
東都学生軟式野球連盟
名古屋商科大学
一橋大学 佐藤ゼミ
武蔵野市市役所
メンズノン
東ブレ(株)
日本分光(株)
NPO法人国際チャリティー協会アムリタハート
プロセスファシリテーションプロジェクト
(有)シン・ハチオウジ・オペレーションズ
(有)和
八王子税務署
名鉄学園社若高等学校野球部父母会
キリンフィルハーモニー管弦楽団
思想の科学社
石川千鶴記念会
留学生
個人利用
日帰り利用
調布バプテストテンプル
明星大学 吉澤ゼミ
TMCA
ボランティア 小林

■12月(50グループ 延べ2,073人)

我究館
第25回大学職員セミナー
アイセック中央大学委員会
模擬国連駒場研究会
日本女子大学英文学科
社会学合同セミナー
中央大学ボクシング部
日本大学 別府ゼミ
大人コミュニケーション力養成セミナー
日本大学 湯浅ゼミ
首都大学東京生命科学コース
早稲田大学 河西ゼミ
アイセック明治大学委員会
創価大学キャリアセンター
帝京大学医学部事務部
日本大学ちゃぼ
五大学合同セミナー
首都大学東京B類テニス部

日本大学 古田ゼミ
内定アカデミア
東京女子大学 中村ゼミ
教員免許状更新講習
青山女子短期大学
工学院大学工学部建築学科
中央大学英語学会
明治大学経理研究所
工学院大学遠藤和義研究室
法政大学 湯川ゼミ
横浜ゼミナール
アイセック一橋大学委員会
東京都立小山台高等学校
個別指導塾ドリームスタディ
八王子高等学校
国際物理オリンピック代表候補者合宿
AITC
文学教育研究者集団
ものづくり大学三原研究室
日本アウトワードバウンド協会
(株)生活科学運営
(有)デボル
とんぼクラブ
石川千鶴記念会
留学生
個人利用
日帰り利用
幼体連スポーツクラブ
東京八王子ワイズメンズくらぶ
空きびんで作ろう「光る楽器」
中央大学ITC
UUUプロジェクト
アポロ

■1月(25グループ 延べ650人)

帝京大学文学部
首都大学東京 地盤ゼミ
フィールドアシスタントネットワーク
東京工業大学大学院建築学専攻
(株)ギブリー
創価大学キャリアセンター
地域科学研究会高等教育情報センター
早稲田大学佐野研究室
桜美林大学ビジネスマネジメント学部
鈴木ゼミ
東京大学太田研究室
駒澤大学 瀬戸岡ゼミ
駒澤大学 中野ゼミ
アイセック・ジャパン
創価大学 長谷部ゼミ
桜美林大学総合文化学群映画コース
石巻サッカーチーム小・中学生
日本学生オリエンタリング連盟
科学研究費研究集会
玉川大学 山口ゼミ
和光大学 中野ゼミ OB会
ラフターヨガジャパン
(株)ダンワールド
石川千鶴記念会
東京ロジカルアカデミー
個人利用

■2月(71グループ 延べ2,164人)

慶應義塾大学
東京外国語大学投野研究室
法政大学 廣川ゼミ
アイセック上智大学委員会
創価大学国際連合研究会
中央大学混声合唱 こだま会
青山学院大学 白井ゼミ
日本大学 代田ゼミ
桜美林大学生協学生委員会
中央大学 鳥居ゼミ
アイセック明治大学委員会

創価大学 安田ゼミ
 東洋大学
 東洋大学はばたき
 東京農業大学SBH
 日本大学経済学部 中村ゼミ
 早稲田大学 吉野ゼミ
 アイセックSFC委員会
 中央大学 高橋ゼミ
 アイセック中央大学委員会
 アイセックAG
 日本大学法学部 福島ゼミ
 東洋大学 太矢ゼミ
 大妻女子大学 佐藤ゼミ
 日本大学 川又ゼミ
 東洋大学第一部アミューズメントサークルcaramel
 明治大学混声合唱団
 東京学芸大学大学院英語教育 金谷ゼミ
 立正大学 板橋ゼミ
 明治大学 竹下ゼミ
 ㈱ペンの森
 首都大学antiaging
 東京学芸大学生協
 日本大学 木下ゼミ
 中央大学文学部教育学専攻
 電気通信大学生協学生委員会
 創価大学経済学部
 東京工科大学吹奏楽団
 東京農工大学複本研究室
 帝京大学こでまり
 日本大学雄弁会
 都立大映画研究会
 内定アカデミア
 東洋大学 遠藤ゼミ
 ヤマザキ学園大学
 法政大学 絵所ゼミ
 中央大学大学院 米津ゼミ
 山田町立山田中学校
 上尾西リトルリーグ
 仁川大学
 個人利用
 杏林大学 倉林ゼミ
 早稲田ビジネスパートナーズ(株)
 立志舎
 和光大学 道場ゼミ
 個人利用
 アンディームジーク室内合奏団
 アンサンブルタマニーニ
 NPO法人国際チャリティ協会アムリタハート
 GATHER毛繕い・楽学会
 石川千鶴記念会
 エナジーソフト(株)
 ㈱スリーボンド
 個人利用
 ①日帰り利用
 幼体連スポーツクラブ ***
 中央大学ITC
 ㈱ITC
 ㈱サイゼリア
 NHK
 和光大学 道場ゼミ
 調布バプテストテンプレ

日本大学法学部 別府ゼミ
 日本大学 福田ゼミ
 中央大学英語学会
 大学人コミュニケーション力養成セミナー
 生物多様性ユースネットワーク
 くら寿司アルバイトメンバー
 東京工業大学将棋部
 法政大学軽登山サークルSPRING
 電気通信大学寺田研究室
 明治大学教職課程
 青山学院大学聖歌隊
 東京都市大学気体エレクトロニクス研究室
 東洋大学 川瀬ゼミ
 駒澤大学 深澤ゼミ
 日独フォーラム
 大妻女子大学デザイン文化研究室
 青山学院大学 中澤ゼミ
 東洋大学 野中ゼミ
 JSA院生支部研究交流会
 早稲田芸術学校
 日中学生交流団体freebird
 首都大学東京B類テニス部
 筑波大学附属小学校自主研究会
 ICU祭実行委員会
 桜美林大学読書会
 中央大学経済学部 片桐ゼミ
 創価大学総合心理研究会
 明星大学人文学部心理学科 竹内ゼミ
 早稲田大学ロシア語劇団コンツェルト
 千葉大学 工藤ゼミ
 横浜ゼミナル
 明治大学 森ゼミ
 明治大学 菊池ゼミ
 計算論的生成音楽学勉強会
 明星大学 小貫ゼミ
 早稲田大学 田中ゼミ
 帝京大学医学部事務部
 日本大学生産工学部
 明治大学 塩澤ゼミ
 東京工業大学化学工学専攻
 東京工業高等専門学校
 埼玉大学 山口ゼミ
 東京大学法学部 北岡ゼミ
 東京大学法学部グローバルリーダーシップ寄付講座
 法政大学 森ゼミ
 日本大学経済学部 岸田ゼミ
 明治大学 柿崎ゼミ
 埼玉大学 福岡ゼミ
 法政大学 鈴木ゼミ
 東京学芸大学明治文学ゼミ
 中央大学 清水ゼミ
 早稲田大学現代史ウィンターセミナー
 中央大学ボクシング部
 エナジーソフト(株)
 多摩大学就活準備特訓塾
 全日本学生自治会総連合
 東京神学大学大学院2年生
 YPM
 レカムホールディングス(株)
 東京神学大学学生説教塾
 一橋大学
 神田外語大学通訳翻訳課程
 八王子高等学校
 ①桐朋学園中学校・高等学校生徒会
 ②桐朋学園中学校・高等学校生徒会
 ジャギーズ
 JUCTe
 NPO法人共存の森ネットワーク
 桐朋高校66期総務委員会
 長野県諏訪清陵高等学校
 文学教育研究者集団
 現代と経済
 国際物理オリンピック代表候補者合宿
 富士森高等学校

(株)ラッテリー
 ICUOGC合唱団
 国際ロータリー第2750地区ローターアクト
 美学研究会
 フェイスフィルハーモニー
 キーナズデザイン(株)
 (株)オザム流通部
 混声合唱団うたの森
 石川千鶴記念会
 (株)九州屋
 (有)イシン・ハチオウジ・オペレーションズ
 留学生

P3 法人ニュースつづき

平成24年度 予算書

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

総括表 単位：千円

科目	本年度 予算額	前年度 予算額	増減
I 一般正味財産 増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	7	10	△3
特定財産運用益	7	0	7
事業収益	182,500	168,675	13,825
受取補助金等収益	0	0	0
受取会費・寄附金収益	49,590	53,780	△4,190
雑収益	5	10	△5
経常収益計	232,109	222,475	9,634
(2) 経常費用			
事業費	208,758	214,068	△5,310
管理費	11,782	11,092	690
経常費用計	220,540	225,160	△4,620
評価損益等調整前 当期経常増減額	11,569	△2,685	14,254
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券 評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	11,569	△2,685	14,254
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
(2) 経常外費用	1,000	1,000	0
固定資産減損損失	1,000	1,000	0
当期経常外増減額	△1,000	△1,000	0
当期一般正味財産 増減額	10,569	△3,685	14,254
一般正味財産期 首残高	842,522	846,207	△3,685
一般正味財産期 末残高	853,091	842,522	10,569
II 指定正味財産 増減の部			
一般正味財産 への振替額	0	0	0
当期指定正味 財産増減額	0	0	0
指定正味財産 期首残高	0	0	0
指定正味財産 期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	853,091	842,522	10,569

2011年度後期 開催セミナー報告

主催セミナー名	日程	テ ー マ	講 師	参加者数
第4回国際教養セミナー	10/22～23	文化交流は日中の溝を埋められるか	李 年古(日本ナレッジセンター代表) 袁 英明(桜美林大学准教授・京劇俳優) 山下 一夫(慶應義塾大学教授) 高井 潔司(北海道大学教授) 花澤 聖子(神田外語大学教授)	33
第8回古代史セミナー	11/5～6	日本古代史・新考・自由自在(その4)	古田 武彦(歴史学者)	86
第38回国際学生セミナー	11/26～27	アジア・太平洋地域はどこへ —新たな国際秩序の模索—	田中 均(日本総研・国際戦略研究所理事長) 佐々木卓也(立教大学教授) 唐 亮(早稲田大学教授) 平岩 俊司(関西学院大学教授) 菊池 努(青山学院大学教授) 浦田秀次郎(早稲田大学教授)	36 (内留 学生 14)
第25回大学職員セミナー	12/2～3	大学職員としてのアイデンティティ —職員が変われば大学は変わる—	土屋 貴之(法政大学職員) 三浦 暁(早稲田大学職員)	57
第4回教員免許状更新講習	12/25～28	教育の最新事情 教育内容の充実	安田 忠郎(教員免許更新センター長) 高垣マユミ(実践女子大学生生活科学部教授) 内藤 昌孝(鎌倉女子大学教育学部教授) 小川 彩子(州立シンシナティ大学レイモンド ウォルターズカレッジ助教授) 山内 芳文(聖徳大学児童学部教授) 吉田 真史(東京都市大学知識工学部教授)	70
特別企画セミナー (芝浦工業大学との共催事業)	11/12	グローバル人材育成のために大学教育 に望むこと	徳永 保(国立教育政策研究所所長) 高見由香里(株式会社イトクロ人事戦略部長) 奥住 直明(株式会社東芝産業政策渉外部長)	53
教職員支援のための連続講演会 (主催：電気通信大学)	10/25	大学と仕事の接続をめぐる現状と課題	本田 由紀(東京大学大学院教授)	71
	11/11	現代社会を生きる大学生の教育支援 と・心理支援	中釜 洋子(東京大学大学院教授)	33
	12/9	研究と教育の両立と統合を考える	有本 章(前広島大学大学教育研究センター長)	34

2012年度 開催セミナー

主催セミナー名	日程	テ ー マ
第1回大学教員のためのプロフェッショナル・ディベロップメントセミナー	6/23(土)～24(日)	学生が授業を受けたいくなるシラバス作り
第26回大学職員セミナー	7/13(金)～14(土)	大学職員の挑戦と実践—職員が変われば大学は変わるⅡ—
第5回教員免許状更新講習	8/4(土)～7(火)	教育の最新事情、教育内容の充実
第2回新任教員研修セミナー	9/3(月)～5(水)	—
第1回EUセミナー	9/28(金)～30(日)	岐路に立つヨーロッパ—EUのガバナンス—
第1回アートビレッジセミナー	10/13(土)～14(日)	openFrameworks セミナー
第53回大学教員セミナー	未定	未定
第9回古代史セミナー	11/10(土)～11(日)	日本古代史・新考・自由自在その五
第39回国際学生セミナー	11/24(土)～25(日)	東アジアを考える
第27回大学職員セミナー	12/7(金)～8(土)	未定
第6回教員免許状更新講習	12/24(月)～27(木)	教育の最新事情、教育内容の充実
留学生論文コンクール2012	募集期間： 4/1(日)～10/15(月)	私が考える地球的問題(グローバル・イシュー)
第6回FD研究会(会員校との共催事業)	未定	未定
第7回FD研究会(会員校との共催事業)	未定	未定
第1回日本留学セミナー(仮称)	未定	未定

☆詳細は、ホームページをご覧ください。 <http://www.seminarhouse.or.jp>

☆セミナーに関するお問合せ・お申し込み TEL.042-676-8532 FAX.042-676-1220 E-Mail:seminar-g@seminarhouse.or.jp

週1回“八王子セミナーハウス メールマガジン”を発行しております。ご希望の方は上記メールアドレスにてお申込下さい。

50周年記念事業骨格固まる 募金活動スタート

専務理事 程島 俊介

2015年7月5日をもって、本セミナーハウスは開館50周年を迎えます。幾多の困難を乗り越え、これまで、大学の合宿研修をはじめ、セミナー事業等高等教育の発展に、一定の役割を果たしてきました。創設当初の基本理念である教員と学生の合宿研修の場の提供と、国公立の壁を越えた出会いとコミュニケーションの場としての共同セミナー等の趣旨の2本の柱を、今後とも、維持するとともに、50周年を契機に、さらに、現代の大学教育に一石を投じる役割を果たしていきたいと自負しております。

去る5月19日の理事会及び評議員会において、正式に50周年記念事業に取り組むことが確認され、7月より募金活動をスタートすることになりました。以下は50周年記念事業の概要です。下記の趣旨をご理解いただき、募金活動にご協力いただきたく願います。

とりわけ、昨年4月より公益財団法人に移行し、寄附優遇措置を受けられるようになり、税額控除も可能になりましたので、ぜひこの機会にご寄附を賜りたく存じます。なお、募金手続・方法については、後日、ホームページ等で報告いたします。

1. 50周年を契機に、以下の5つのポイントを中心に、新たな魅力あるセミナーハウスを構築することを目指します。
- (1) 現代の高等教育が抱える諸課題に一石を投じるセミナー事業を展開する。例えば、教育力や学力の向上、大学連携、留学生支援等に係るセミナー事業を展開します。

- (2) 本セミナーハウスの核は、研修とセミナー事業ですから、セミナー室を充実させることに努めます。
- (3) 自然とアートに囲まれた合宿研修施設の増設と食堂の改善を図ります。
- (4) 個性豊かな建物群を活かしつつ、アーティスティックな環境を作るため、アートビレッジの構築を図ります。
- (5) 女子学生にとっての人気スポットを目指します。
2. 上記を実現するために、50周年記念事業として、以下の事業を企画しています。(ただし、資金計画との折り合いが必要です)
- (1) 220人収容規模の食堂および、フロントを含む新本館を建設します。
- (2) ユニットハウスのアトリエ化を中心に、アーティストの活動拠点としてのアートビレッジを構築するとともに、園内を庭園として整備します。
- (3) セミナー室の拡充を図ります。
- (4) 既存の建物のリニューアルをします。
- (5) 八王子市等と交渉し、道路及び交通網の整備を図ります。
- (6) 記念式典、記念誌刊行および記念文化事業を企画します。

上記を実現するための資金計画については、(1)宿泊利用者の増加、(2)募金活動、(3)銀行借入れ、(4)自己資金の積み立て、(5)補助金等の獲得など、現在検討中ですが、どの項目も厳しく、事業計画をすべて実現するのは困難とされます。従って、銀行及び経営コンサルタントの意見を聞きながら、実施項目に優先順位を付け、資金計画に沿って実現を図ることとなります。

以上のことをご理解賜り、本法人のさらなる発展のために皆様方のご尽力・ご協力を切に願います。

○寄贈図書 (2011年10月～2012年3月)

●早稲田法学会誌第62巻第1号2011(早稲田大学法学会) ●早稲田法学第86巻第3号2011(早稲田大学法学会) ●アジアの現代文芸「スリランカ」 変革の時代((公財)大同生命国際文化基金) ●アジアの現代文芸「インド」 ウダイ・プラカシ選集((公財)大同生命国際文化基金) ●早稲田法学第86巻第4号2011(早稲田大学法学会) ●学習院大学研究叢書40「イギリス文学・文化論考－ロマン主義を中心として－(学習院大学) ●ことばの力…私の書写ノートより…(三浦安子) ●東京大学大学院教育学研究科紀要第51巻(東京大学大学院教育学研究科) ●早稲田法学第87巻第1号2011(早稲田大学法学会) ●早稲田法学第87巻第2号2012(早川弘道教授追悼号)(早稲田大学法学会) ●早稲田法学会誌第62巻第2号2012(早稲田大学法学会) ●人文論集 2011 L(Humanitas No.50)(早稲田大学法学会) ●モデュロール(ル・コルビュジエ著・吉阪隆正訳)第1巻、第2巻(菅原 穰)



Plain living and high thinking

館長室から 業平橋

東京スカイツリーの完成に合わせて、3月17日に、東武鉄道伊勢崎線の「業平橋」駅が「とうきょうスカイツリー」駅に名称変更された。由緒ある名称が一つ消されたことは実に嘆かわしい。

業平橋は、近くにある言問橋と共に、『伊勢物語』に因んで付けられた名称である。橋は1928年に架けられたというから、平安時代からあるわけではないが、我が国の代表的な古典文学に縁がある。東下りをした在原業平が

名にしおはばいざ言問はむ都鳥わがおもふ人はありやなしやと
と詠んだことに因んで付けられた優雅な名称である。住民の要望に応じて、駅名標に「旧業平橋」と書き添えられたことは、せめてもの慰めというべきかも知れないが、「業平橋(とうきょうスカイツリー)」とするのが許容の限界と考えるのは私だけか。

「和魂漢才」を捩った「和魂洋才」という言葉があるが、「和魂無き洋才」や「和魂抜き洋才」が氾濫するのは嘆かわしい。

実は、「業平橋」は他にもある。例えば、春日部市にある古隅田川に架かる小さな橋も「業平橋」であり、すぐ近くの春日部八幡神社には「都鳥の碑」がある。在原業平が都鳥を見たのはどちらであろうか。

館長 荻上 紘一

制 編 発 発
作 集 行 行
|| ア || 集 || 行 || セ
|| ト || 集 || 行 || セ
|| リ || セ || 行 || セ
|| エ || ミ || 行 || セ
|| イ || ナ || 行 || セ
|| チ || ナ || 行 || セ
|| の || ナ || 行 || セ
|| の || ナ || 行 || セ

2012年5月発行

No.182